

表 シカゴ連銀経済報告 (2022年10月19日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は緩やかに (moderately) 増加 賃金は大きく (strongly) 上昇	部門やスキルレベルを問わず、労働者を見つけるのが困難であるが、給与所得者の雇用が減少している一方、低スキルの労働者の雇用はやや容易になっているとの報告もある。全体として、新規雇用者の獲得と既存の人材の維持の両方のため、賃金および福利厚生費用は大きく上昇した。労働市場の逼迫に加え、高いインフレで、労働者が賃上げを要求するとしている。
物価	急速に (rapidly) 上昇	物価は急速に (rapidly) 上昇したが、燃料価格は低下した。今後1年間は物価上昇のペースが鈍化すると予想される。生産者物価は、一部の商品の下落を除けば、原材料、労働、輸送など全体的なコスト上昇の転嫁により上昇を続けている。消費者物価は、堅調な需要とコスト上昇の転嫁により、概ね堅調に推移した。しかし、燃料価格は下落し、さまざまな小売製品のプロモーションが増えていると指摘。
個人消費	ほとんど変化なし (little changed)	消費者は引き続き、し好品から必需品に支出をシフトしている。ペット用品、食料品、季節用品への支出は増加し、衣料品への支出は減少した。新学期商戦の購買は期待通りとなった。レジャー・サービス業はやや減少。自動車販売台数は減少したが、自動車部品やサービスに対する支出は顕著に増加した。
企業支出	わずかに (slightly) 増加	設備やソフトウェアの買い替え需要によって設備投資は小幅に増加した。商業用および家庭用のエネルギー消費は小幅に増加したが、工業用エネルギー消費の需要はわずかに減少した。自動車在庫は安定しており、コロナ禍の最低水準を上回ったものの、依然としてコロナ禍前の水準を大きく下回っている。
建設と不動産	控えめに (modestly) 減少	減少の主な要因として金利の上昇が指摘されている。住宅建設はわずかに減少し、住宅建設業者は今後1年間はさらに減速すると予想。住宅用不動産は、供給が限られているため住宅価格は小幅に上昇した。住宅用賃料は緩やかに上昇。商業用不動産は、オフィスビルや商業施設に対する需要が減少したため、動きが小幅に鈍化した。一方、工業用地に対する需要は引き続き堅調となった。価格は全体としてやや下落し、賃料は小幅に低下したが、空室率およびサブリース物件の在庫は小幅に増加した。
製造業	わずかに (slightly) 減少	製造業各社は、新規受注が減速する中で、引き続き大量の受注残に追いつくための生産をしていると報告。生産高は、製造業者が労働力の確保やサプライチェーンの混乱に引き続き苦慮しているため、小幅に増加。鉄鋼生産は、様々な分野で需要が減速したため、全体としてわずかに減少。金属加工品の需要は横ばいとなったが、防衛、医療、航空宇宙産業からの受注増が他のいくつかの分野での減少を相殺した。自動車生産は、労働とサプライチェーンの逼迫が続く中で横ばいだったが、大型トラックの生産は、やや持ち直した。重機の需要はわずかに減少した。
金融	緩やかに引き締まった (moderately)	株式・債券市場では、資産価値の低下とボラティリティ(値動きの大きさの度合い)の上昇を報告。企業向けローン需要は小幅に減少し、担当者は借入金利の上昇と不確実性の高まりが減速の一因であると指摘した。企業向けローンの質はわずかに低下し、融資基準はわずかに厳しくなった。消費者市場では、金利上昇を背景に住宅ローンや自動車ローンの減少が報告され、融資額は小幅に減少した。消費者ローンの質はいくぶん低下し、融資基準はやや厳しくなった。
農業	所得予想は横ばい (unchanged)	トウモロコシと大豆の価格は上昇。しかし、河川水位の低下によって、貨物を運ぶ小型船の積載量減少のため、輸送コストは上昇した。乳製品価格、特にバターと、卵の価格は上昇した。豚と牛の価格は下落。
地域社会の状況	堅調なレベルを維持 (remained solid)	州政府関係者は、当報告期間中も税収の健全な伸びを報告した。失業保険の申請件数は低水準で推移した。中小企業振興機関は、顧客が成長のためではなく、投入価格の上昇を相殺するために借入を行っていると報告。低所得および中所得世帯を支援する非営利団体は、燃料価格が緩和している一方で、食料品価格の高騰と家賃の上昇が家計に負担をかけ続けており、社会サービスやその他の支援に対する強い需要につながっていると報告。保育・幼児教育事業者は、低賃金労働市場の逼迫により、スタッフの欠員が続いていると報告。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成